

わが子3人を国立大学 医学部に入れた / ウハウ



わが家の3人の子ども達は国立大学医学部に合格してくれましたが、父親の私がやったことはお金の用意や環境の整備などで、健康面や精神面のフォローでは母親である妻の力が大きかったです。（塾長）

「先日、長女の学士編入合格により、わが家の受験は終了しました。受験の回を重ねるにつれ、子どもとの接し方の大切さを痛感しました。子どもの心にフォーカスして、いかに子どもが気持ちよく勉強できる環境を作れるか？自分自身も反省に次ぐ反省を繰り返し、最後の受験でやっと気づかされた事もあります。これまでの経験から実践してきた事を挙げます。」（母親談）

①「勉強なさい！」と言わない。

この言葉は子どもが“一瞬”でやる気をなくします。

②子どもの気持ちに寄り添い、話に共感する。

「つらかったね」、「大変だったね」と聞くだけで良いのです。

③兄弟姉妹は比べない、そして兄弟姉妹は平等に。

④スマホの管理は厳重に。

スマホ使用のルールを決め、親は確固たる信念をもって管理しましょう。

（実はこれが一番難しい！）

⑤女の子は先手必勝。

受験は長期戦です。男子に比べ体力がない女子は早め早めの対策を。

⑥どんな小さな事でも「ありがとう」と伝える。

もっと詳しく知りたい方は教室までお問い合わせ下さい。

AIが飛躍的に進化する中で、私たちにはより高度な学びが求められています。6年＞3年＋3年という式で表せるように、中高一貫校は高校受験がなく、じっくり学んで大学受験の対策ができます。難関大や医学部を目指すなら、ぜひ中学受験に挑戦されることをおすすめします。

中学受験に出てくる**つるかめ算**をやってみましょう。



公園の池にツルとカメがいます。頭の数合計は12個で、足の数の合計は30本です。それぞれ何羽と何匹いるのでしょうか？

中学生の解き方——連立方程式を使います。

ツルが x 羽、カメが y 匹いるとすると

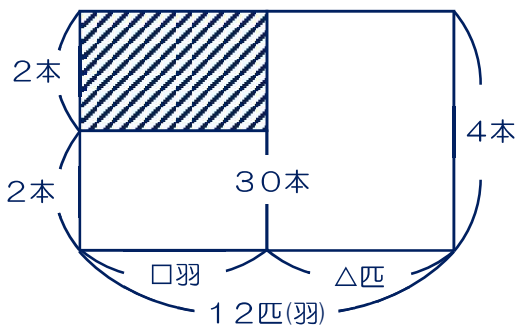
$$\begin{cases} x+y=12 & \cdots\cdots\text{頭の数} \\ 2x+4y=30 & \cdots\cdots\text{足の数} \end{cases}$$

これを解いて $x=9$, $y=3$

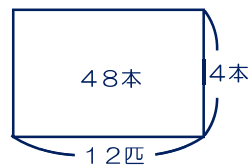
ツルが9羽、カメが3匹

小学生（中学受験）の解き方——面積図を使います。

ツルが□羽、カメが△匹いるとすると
下の面積図が書ける



もし全部カメだとすると
足の数の合計は
 $4 \times 12 = 48$ 本



実際はそれよりも
 $48 - 30 = 18$ 本
少ない



足の数の差の2で割ると
ツルは $18 \div 2 = 9$ 羽



□=9、△=3で
ツルが9羽、カメが3匹

その他の解き方——絵を書きます。

まず頭を12個書いて、次に足を30本になるまで書く。



足が2本あるのがツルで9羽、足が4本あるのがカメで3匹。
簡単ですが数が多くなると大変。

どの解き方が一番いいですか？